

メッセージ

広島と長崎に原爆が投下されてから69年を迎えようとしています。

この月日の流れによって戦争体験者の高齢化が進み、被爆・戦争の悲惨さを継承していくことが困難となってきましたが、今を生きる私たちには、世界で唯一の被爆国として「核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ」を、次世代の子ども達へ語り継いでいかなければなりません。

交野市は、核兵器を持たない、戦争のない、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指し、1983年に非核平和都市を宣言、2001年には平和と人権を守る都市宣言を行いました。これらの宣言は、わたしたち交野市民一人ひとりの平和への強い願いであります。

さらに2010年には、核兵器のない平和な世界を実現するため、世界の都市と連携して国際社会にアピールされている「平和市長会議」に加盟し、併せてヒロシマ・ナガサキ議定書への賛同署名もいたしました。

こうした強い願いにも関わらず、世界では未だに核兵器が存在し、戦争の火種が消えないことは、大変遺憾でなりません。

本市といたしましても、非核・平和の実現に向けて世界の都市と連携し、国際社会に強くアピールしていく所存です。

「原水爆禁止2014年世界大会」の成功に向けての皆様方のご活躍に心から敬意を表しますとともに、非核・平和の輪が全世界に広がることを祈念いたしまして、わたくしのメッセージといたします。

2014年8月

交野市長 中 田 仁 公